



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市中央
7-10-9
電話 736-9933
FAX 736-9991

指定管理者制度導入ありきやめ、職員の増員で 市民と協働のまちづくりを

9月議会で、令和2年度一般会計決算について、大野とし子議員が市の財政状況などについて質疑しました。

「子育て世代に選ばれるまち」で税収向上を

令和2年度のひとり当たりの納税額は10万4670円で、ひとり当たりの所得は310万円から312万円と増額しました。県平均343万円より約31万円低い状況です。法人数は、4984法人で前年より39法人増えましたが、一法人当たりの納税額は、31万7939円で、前年より約4万円の減でした。

大野議員は、「税の基本は、能力に応じて税を納め、社会保障の充実などに取り組み所得の再配分が原則であり、税収の向上にとりくむことが必要。子育て世代に選ばれるように経済的支援を行うこと、事業者支援のために住宅リフォーム助成制度などに取り組みこと」を指摘しました。

財政調整基金約32億円 市の財政は健全！

国からの地方交付税は、普通交付税と特別交付税を合わせ、約91億円で引き続き県内トップです。市の借金は総額で総額約681億円ですが、

国から補填される金額を差し引いた実質的借金は約166億円です。市民要望を実現するために自由に使える財政調整基金は、令和2年度末約32億円で、財源は十分あります。

職員数は、依然として 県内で最下位レベル

市の職員数は、令和2年は1414人で、令和3年は1431人と増員は図られています。しかし、令和2年度の職員ひとり当たりの市民数は、276人で県内で多い状態です。職員数は依然として県内最下位レベルです。

大野議員は、「職員が増員されない原因の一つに、指定管理者制度導入がある。職員が真摯に市民の声に耳傾け、市民も積極的に市政に関わり、職員と市民が協力してつくり上げる協働のまちづくりが求められている。職員が市民の声を直接聞いて市政に反映させる機会が減る指定管理者制

度導入ありきではなく、職員を増員して直営とすることが必要」と指摘しました。石川市長は、「職員が働きやすい職場にしていきたい」と答えましたが、増員への考えは示されませんでした。

女性管理職0・3% 県内39市中35位

課長補佐級以上の管理職に占める女性の割合は、241人中20人で8・3%、県内39市中35位です。女性管理職の登用が最も多いのは、蓮田市で26・9%です。

女性相談の充実のために男女共同参画の中心である「ハーモニー春日部」でのDV相談には、市が積極的に関わるよう主張しました。

妊婦とそのパートナーに ワクチン優先接種を実施

産科かかりつけ医に了解を得ている人

受付開始9月1日(水)

コールセンターでの電話予約
0570・030・630



党市議団 ふじ学園を視察

3障害と医療的ケア児受け入れ

8月13日(木)党春日部市議団は、今年4月にオープンした複合型子育て支援施設「パレットやぎさき」の児童発達支援センターふ

コロナ感染予防のため ふじ学園のみ視察

じ学園を視察しました。

「パレットやぎさき」は、ふじ学園と八木崎保育所の複合施設ですが、新型コロナウイルス感染防止のため保育所は保護者を含めて施設の見学などをおこなっていないため、ふじ学園の子どもたちが帰った後、16時から30分間、ふじ学園のみに限定しての視察となりました。

「パレットやぎさき」は、新設の八木崎保育所(定員

120名)と、牛島から移転した児童発達支援センターふじ学園(定員60名)を指定管理者の(株)コマームに運営を委託しています。当日は(株)コマームの統括部長から説明を聞きながら見学しました。

放課後等デイサービス 療育相談も実施



理学療法室・作業療法室

旧ふじ学園は、施設が老朽化したことと、バリアフリーでないという構造上の問題から障害が軽いお子さんしか受け入れることができませんでした。

日本共産党市議団は、ふじ学園の移転新築にあたり3障害(身体、知的、情緒)すべてを受け入れること、特に家庭での保育や民間施設では受け入れが困難な、医療的ケアが必要な重症心身障害児を受け入れることを強く要望してきました。

新しくなったふじ学園では、3障害すべての受け入れが可能になり、医療的ケアが必要な重症心身障害児3人が通っています。さらに、療育相談、放課後等デイサービス(定員30人)もおこなわれて、障害のあるお子さんの支援が大きく前進しました。

常駐の専門職が 情報を共有して

主に知的や情緒に障害がある子は定員12人のクラスが4つで48人の定員のうち現在44人が通所しています。職員は一クラスに4人ずつ保育士などの専門職が配置されています。重症心身障害児クラスは定員12名ですが、現在3人に1対1での療育がおこなわれています。クラス担当でない専門職が理学療法士1名、作業療法士1名、言語聴覚士1名、相談支援専門員1名、心理指導員2名が常駐し、情報を共有しあつてひとりひとりにあつた療育ができるようになっている、ということでした。

療育を希望される場合、ふじ学園で面接し、お子さんの状態や保護者の希望を聞き、受け入れが可能であれば市に申し込む、ということ、今のところ申し込みを断った例はないとのことでした。



市立医療センター Ⅱ735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119
9/5(日)みくに病院(内科系)下大增新田 電話737-1212 浜崎医院(小児科系)備後西3-8-57
電話745-6000 杉浦眼科豊春分院(外科系)下蛭田259-2 電話754-2333
9/12(日)かすかべ生協診療所(内科系)谷原2-4-12 電話752-6143 岡田医院(小児科系)
一ノ割2-6-21 電話735-7848 岩松医院(外科系) 栄町1-334 電話761-0077